

富士未来学Ⅵ

－ 6 年間の軌跡

6年間の軌跡でできるようになること

6年間で取り組んだ課題研究を振り返ることで、自己の成長を確認し、将来に向けて大志を抱くことができる。

6年間の軌跡で学ぶこと

自分の研究で成し遂げたことを振り返り、自分の将来との関連を考えることをとおして、課題研究の意義を学ぶ。

月 日 ()

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校



高校3年 組 番 氏名



研究開発の概要が分かる説明資料

I 富士未来学（拓く）

- 1 6年を貫く課題研究「富士未来学」のカリキュラムの研究開発（異学年による研究交流，課題研究強化週間の設定，独自テキストの発行）
- 2 最先端の科学を取り入れた理数カリキュラムの研究開発（数学：統計と実験を重視した授業を実践 理科：高大連携授業を実践）
- 3 課題研究に必要な資質・能力を全教科で系統的に育成するカリキュラムの研究開発（課題研究「富士未来学」との関連を明示したカリキュラム表に基づく授業の実践）

東京都立富士高等学校
東京都立富士高等学校附属中学校

SSHで育成する「富士山型探究者」

「富士山型探究者」とは「挑戦力」「理数的発見力」「理数的解決力」を備えた科学的グローバルリーダーを指すものとして全校で共有した言葉です。SSH事業をとおり，全校を挙げて育成を図ります。

Ⅲ 全富士体制（育てる）

- 1 全教員によるゼミ・ラボ体制の研究開発
- 2 全教員対象の「富士未来学研修」の研究開発（「富士未来学」スキルアップ研修など，毎月実施）

Ⅱ 富士SSチャレンジプログラム（尖る）

- 1 最先端の科学技術を学ぶ理数事業の研究開発（理数セミナー，放課後理数教室，サイエンスアカデミーキャンプなど）
- 2 グローバルな科学技術を学ぶ理数事業の研究開発（F G G，海外探究研修，理数ファウンデーション研修，英語合宿など）

Ⅳ 評価（検証する）

成果を検証するための質問紙，調査問題及び客観的な分析方法の研究開発
評価委員会「IR評価委員会」の設置

Ⅲ 全富士体制（育てる）

「富士山型探究者を育成する人」を育てる
「富士未来学研修」の開発

Ⅳ 評価（検証する）

各取組の成果を，科学的・客観的に評価し，検証

SSH

研究開発課題名

6年間を貫く
課題研究「富士未来学」に
挑戦する
中高一貫理数教育カリキュラムの
開発と評価

理数的発見力
理数的解決力

挑戦力

富士山型
探究者

（科学的グローバルリーダー）

Ⅱ 富士SSチャレンジプログラム（尖る）

最先端の科学技術を学ぶ
「富士SSチャレンジプログラム」の研究開発

I 富士未来学（拓く）

（最大5単位「理数探究」を履修できる。）
6年間を貫く課題研究「富士未来学」に挑戦する
中高一貫理数教育カリキュラムの研究開発

基盤となるグローバルな教育

富士未来学Ⅰ
中1・35時間
総合的な学習の時間
「探究とは何か」

課題発見講座Ⅰ
データ分析講座Ⅰ
プレゼン講座Ⅰ
探究合宿

富士未来学Ⅱ
中2・35時間
総合的な学習の時間
課題研究の基礎力

課題発見講座Ⅱ
データ分析講座Ⅱ
プレゼン講座Ⅱ
研究倫理講座
英語合宿

富士未来学Ⅲ
中3・70時間
総合的な学習の時間
ブレ課題研究
ゼミ体制

探究基礎講座
データ分析講座Ⅲ

富士未来学Ⅳ
高1・2単位
理数探究
専門的な課題研究
ラボ体制

課題発見講座Ⅲ
質問紙講座Ⅰ
研究計画書講座

富士未来学Ⅴ
高2・2単位
理数探究
課題研究の発信
ラボ体制

アカデミック・
ライティング講座Ⅰ
質問紙講座Ⅱ
統計分析講座
海外探究研修

富士未来学Ⅵ
高3・1単位
理数探究
選択2単位
SS理数探究
英語論文・ポスター
ラボ体制

アカデミック・
ライティング講座Ⅱ

生徒のICT機器の活用をベースに授業を実践

挑 戦 力

解決策が見いだされていない課題に，試行錯誤して取り組もうとする力
失敗から学び，より良い方法で実践するために自己調整しようとする力
新たな価値を創造し続けようとする力

理数的発見力

挑戦力を働かせて，疑問をもったことから課題を見いだす力
科学的に解決できる課題であることを判断する力

理数的解決力

課題から仮説を設定し，科学的に検証できることを説明する力
挑戦力を働かせて，検証計画を立案し，見直ししながら実践する力
データを収集し，統計的な手法で分析し解析する力
解析結果を根拠に，導いた結論を他の人が納得するように説明する力

理数的
解決力

理数的
発見力

挑戦力



6 年間の軌跡

ルーブリックを見返しながら、自己の到達度を確認し、改善を図りましょう。

育成したい資質・能力	グランドデザインとの関係	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				A	B	C		
挑戦力	価値創造	主体的に学習に取り組む態度	1の記述	1（1）で自分の研究について整理したことから、（2）で自己の変容について記述し、（3）では自己の将来への影響を記述し、課題研究の価値を見いだしている。	1（1）で自分の研究について整理したことから、（2）で自己の変容について記述しているが、（3）では自己の将来への影響を記述していない。	1（1）で自分の研究について整理できておらず、振り返ることができていない。または、整理しているが、（2）で自己の変容について記述していない。		

1 6 年間の課題研究を振り返りましょう

（1）自分が成し遂げた課題研究を整理しましょう。

研究課題名
目的
方法
明らかになったこと
課題



(2) 課題研究をとおして自分の中で変容したことを、理由とともに記述しましょう。

[illegible]

(3) 課題研究が自分の将来や進路にどのような影響を与えたか、記述しましょう。

[illegible]

2 ルーブリックによる自己評価

育成したい資質・能力	クラシカルな学びの観点	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				A	B	C		
挑戦力	価値創造	主体的に学習に取り組む態度	1の記述	1（１）で自分の研究について整理したことから、（２）で自己の変容について記述し、（３）では自己の将来への影響を記述し、課題研究の価値を見込んでいる。	1（１）で自分の研究について整理したことから、（２）で自己の変容について記述しているが、（３）では自己の将来への影響を記述していない。	1（１）で自分の研究について整理できておらず、振り返ることができていない。または、整理しているが、（２）で自己の変容について記述していない。		

引用文献

- (1) 東京都立富士高等学校・東京都立富士高等学校附属中学校（2021）『令和3年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施計画書【開発型・実践型】』